

千駄ヶ谷の

日本語教員試験対策 (応用試験)

日本語教員試験の応用試験は、「基礎的な知識及び技能を活用した問題解決能力を測定するため、教育実践と関連させて出題すること」とされています。そのため、基礎的な知識や技能があることはもちろん、教育実践のイメージができることが大切です。千駄ヶ谷の総合課程では、以下の取り組みにより応用試験合格に必要な力を養います。

01

総合課程で学ぶ理論（基礎的な知識）

通学受講またはe-ラーニングで理論の基礎的な知識を学びます。

02

総合課程で学ぶ日本語教育実践

通学受講の日本語教育実践や指導法を通じて実践のイメージを掴みます。

03

総合課程で学ぶ試験問題演習

総合課程には試験問題演習が含まれています。

日本語教育事情	日本語文法2科目
社会言語学	音声学2科目
言語習得論	語彙・意味
外国語教授法	言語学概論
評価法	合計90分×11科目

01～03のいずれも、e-ラーニングで入学日から3年間何度でも受講可能です。



04

合格体験談を聞く会（仮称・詳細検討中）

試験に合格した修了生の体験談を聞きます。参加無料！

05

音声・聴解対策（仮称・詳細検討中）

苦手意識を持つ方が多い音声・聴解の試験対策を行います。オプション・別料金

千駄ヶ谷日本語教育研究所は、総合課程の他に高額な試験対策は必要ないと考えます。試験合格に近道はありません。基本を着実に積み上げることで一歩ずつ確実に合格に近づきます。

千駄ヶ谷日本語教育研究所

TEL: 03-6265-9570 Mail: center@jp-sji.org

総合課程で学ぶ理論（基礎的な知識）

授業時配布資料より

日本語教員試験サンプル問題より

間接ストラテジー

(コースデザイン1)

- メタ認知ストラテジー**
自分の学習を客観的に把握し、自身にとって効率のいい学習計画を考える
- 情意ストラテジー**：感情のコントロール
リラックスするために音楽を聞いたり、面白い本を読んだりする...
- 社会的ストラテジー**
他者とコミュニケーションをすることで学習効果を高める

- (3) 言語学習において、学習者は学習を促進するための様々なストラテジー(方略)を用いると言われている。このような学習ストラテジーのうち「メタ認知ストラテジー」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。
- 1 教師に質問し説明を求める。
 - 2 テキストの文脈から意味を推測する。
 - 3 学習計画を立てて、随時進捗を確認する。
 - 4 目的に応じた聞き方や読み方を選択する。

総合課程で学ぶ日本語教育実践

授業時配布資料より

指導法9

－ ロールプレイ（ロールカードを使った会話指導）－

1. ロールプレイとは？⇒役割を演じる学習活動の総称

①シナリオドラマ

役割も台詞も決まっており、自由に言葉を用いていくものではない。正確性が重視される。

②ロールプレイ

役割は決まっているが、学習者自身が言葉を用いていく。コミュニケーションの滑らかさが重視される。

2. 実施時期

①文型の運用練習として

②一つの独立した活動として

3. ロールプレイ（ロールカード）の例

『指導法』で習得した知識・技能がそのまま試験で活かれます！

日本語教員試験サンプル問題より

問題7

大学の交換留学生を対象とした日本語会話クラスで、以下のようなロールプレイを実施した。資料1～3を読み、後の問い(問1～5)に答えよ。

〈資料1〉クラスの概要と使用したロールカード

レベル：中級前半 学習者数：8名

使用したロールカード

【ロールカードA】

あなたは大学の交換留学生です。来週、両親が日本に来るため、授業を休んで空港へ迎えに行きたいと考えています。先生に欠席することを伝えてください。

【ロールカードB】

あなたは大学の先生です。学生から来週の授業を欠席することを報告されます。理由を聞いて、許可してください。

〈資料2〉授業のおおまかな流れ

- aウォーミング・アップ ⇒ ロールカードを読む(3分) ⇒ ペアで練習する(5分)
⇒ ペアごとに発表し、bクラスで気づいたことをコメントし合う(20分) ⇒ 必要な表現の練習をする(10分) ⇒ もう一度、ペアを変えて発表をする(15分)
⇒ まとめ

日本語教員試験詳細

日本語教員試験とは、「認定日本語教育機関」で日本語教育課程を担当する「登録日本語教員」になるために必要な資格試験です。

応用試験の構成

読解100分60問 聴解50分50問

実施日

2025年11月2日(日)

出願期間

7月14日(月)～8月22日(金)

出題範囲

登録日本語教員養成課程コアカリキュラムにおける必須の教育内容

千駄ヶ谷日本語教育研究所

TEL: 03-6265-9570 Mail: center@jp-sji.org